

ペタンク通信

北海道ペタンク・ブール連盟
No.130 2022年9月
発行責任者 磯野憲二
メールアドレス ken-9753@sea.plala.or.jp
HP <http://www17.plala.or.jp/ken-9753/>

第37回 JPBF カップ北海道ペタンク大会 3年ぶりの北海道選手権優勝 札幌アルデバラン



予選・決勝トーナメント8試合 試合毎に
実力発揮して優勝した 札幌アルデバラン

3年ぶり「第37回 JPBF カップ北海道ペタンク大会」が8月21日(日)池田ペタンク場で開催されました。道内9協会から33チームが参加して、コロナ禍の中で腕を磨いてきて待ちに待った北海道選手権、天候にも恵まれ最高の環境下で最高の熱戦が展開されました。

北海道のペタンクの歴史は池田町で始まり、池田から道内各地へとペタンクが普及し、砂利テランの専用のペタンク場を有します。場内の夜間照明設備、放送設備、トイレ等々、あらゆる面で池田でのペタンクが北海道を代表しています。そんな道内のペタンクの聖地で、優勝を果たした札幌アルデバラン(札幌ペタンク協会)は、決勝戦では素晴らしい投球を魅せて優勝を果たしました。

◎8月21日(日)池田町 池田ペタンク場 (主催 公益社団法人日本ペタンク・ブール連盟)

◎大学ペタサ3・安平町3・士別/池田1・札幌3(1)・森町/池田2(1)・美幌町5(4)・むかわ町1(1)・白老町1(1)・北見市7(6)・池田町7(4) 33チーム(決勝18)

◎成績 優勝 札幌アルデバラン 阿部 仁・香奈江・北林正行 (札幌市)
準優勝 ルミエール 白川美喜子・村上幸江・吉川幹子 (北見市)
3位 アチーブむかわ 大友三成・渡辺博司・前田美佳 (むかわ町)
4位 白老 塩崎昭一・遠藤克彦・佐々木保 (白老町)

今年がペタンク普及元年になりますように！！
北海道のキャッチフレーズ「その先の、道へ。北海道」

本大会には、道連盟の9協会から会員が集い、北海道選手権では初めての学生選手が12名(大学生9名・小学生3名)参加しました。大学生チーム3チームは、予選ブロックで3戦して3敗と、3チームともにブロック4位と、大会結果には悔いが残ったかも!?ペタンクをジュニアから経験して、国際大会実績もあるノールエトワールKTK(カテカ)チーム、ベテランペンカーとの対戦に負けても、9月の日本学生ペタンク選手権との実戦練習と気持ちを切り替えていました!?

準決勝、決勝戦・3位決定戦、大会閉会式で上杉道連盟会長が講評していましたが、本当に素晴らしい試合となり、観戦者もその素晴らしい投球に魅せられていました。試合の流れをつくるポワンテ、その流れを変えるティール、試合を決めたポワンテとティール、ピンチとチャンス、3位決定戦での逆転劇、白老チームは協会長自らペタンクの楽しさを演出して、見ても爽やかさを伝えてくれました。優勝した札幌アルデバラン、ポワンテの阿部選手のポワンテはブラボーの連投でした。最高の試合を魅せてくれた選手と池田協会の大会運営に感謝します。(磯野 憲二)



お楽しみ交流会 釧教大チーム



決勝戦(ルミエール・札幌アルデバラン)

JPBF 公認 C 級審判員資格検定 講習会8月11日(木)札幌市開催

本講習会は、公益財団法人北海道スポーツ協会主催開催、令和4年度競技団体対策助成事業として初めての取り組みです。主管する札幌ペタンク協会中村会長（道連盟副会長）は、助成事業としての申請、実施計画書、実績報告書などの申請事務に係る準備をするために、直接道スポーツ協会との担当者と協議を行い開催する運びとなりました。資格検定講習会では日本連盟との申請協議とともに、今後も助成事業として道スポーツ協会への申請事務、道連盟事務局との連携により実施することとなります。講習会を開催するにあたって、主管する協会は、今回の取り組み実施例を参照して、道連盟事務局の負担軽減に協力実践をお願いします。本講習会への受験者は3名、全員が合格しました。今後の講習会（次年度計画）、資格検定講習会、ペタンク講習会、ペタンク体験研修会等々、講師派遣等道連盟事務局と協議をしてください。



第6回日本学生ペタンク選手権大会 準優勝



準優勝 ノールエトワール
清野恵多（左）・寺地優樹（右）

9月11日（日）東京都立川市昭和記念公園内ペタンク専用コートで開催され、北海道から参加した第5回大会の覇者ノールエトワールは、連覇は逃したものの、見事な準優勝を果たしました。本大会には10チーム（内6チーム東大ペタサ）が参加、ノールエトワールはAブロック2位（1位は優勝したホリリシン（東大））で決勝トーナメント進出、準決勝はBブロック1位のユーフォニウム（東大）に11対6の逆転勝ちして、決勝戦では再びホリリシンと対戦、一進一退、逆転して9対7、再逆転されて9対11で連覇を逃しました。試合内容はホリリシンのカ口の連発の逆転劇と日本では見られない魅せる決勝戦でした。（当日の試合内容は美幌町ペタンク協会ライングループで報告あり。）（東京大学ペタンクサークル

https://twitter.com/tenkawotoru1/status/1568940211920568320?cxt=HHwWgIDQ1eyz_8UrAAAA 参照)



（左）ポワンテする寺地選手
（右）ティールする清野選手

各協会だより



宍戸さんを囲んでの記念撮影

北見市ペタンク協会

8月6日（土）、北見市ペタンク協会会員宍戸さんの米寿の感謝状の贈呈式と小中生と大人まで多様な年齢層を対象とした講習会を行いました。講習会の後半は、協会員が入った混成チームでゲームをしました。

「会員も協会員も久しぶりに笑いながらの楽しい試合ができました。この子たちが会員に入ってきたらどんなに楽しいだろうと思いました。」
（北見市ペタンク協会 村上会長）

美幌町ペタンク協会

美幌町ペタンク協会のジュニア、加藤瑛太くんと小成琉惺くん（小学6年生）が、日本連盟の強化合宿に参加しました。

8月4日から7日3泊4日で長野県諏訪市の会場で行われた強化合宿、北海道・岩手県・埼玉県・岡山県・高知県から17名が参加しました。全国のジュニアとの交流とペタンクの強化と夏休み期間中に貴重な体験となりました。強化合宿を終えて早速、池田町で開催された第37回JPBFカップ北海道ペタンク大会に参加、美幌町民ペタンク大会にも参加するなど、週2回のジュニアの練習でも積極的に熱心に取り組むなど、合宿の効果が出ています。



ペタンクのやり方を指導する宍戸さんと会員



強化合宿中ジュニアの国際大会代表選考会実施



JPBF カップ北海道ペタンク大会に出場
小成琉惺・加藤瑛太選手 加藤なな子選手



令和4年秋季体育祭

美幌町民ペタンク大会



参加賞・弁当・飲物代は助成費・協会の負担
どれがいいのかな!?参加賞を選んでいきます

9月18日（日）南町運動広場美幌町ペタンク練習場で町民ペタンク大会を開催しました。参加者は会員18名（内ジュニア3名）で、8チームで13点先取の3試合を行いました。このコロナ禍で午前中の大会運営で、3試合での順位を決定しました。開会式では来賓に美幌町スポーツ協会伊藤会長から挨拶をいただき、閉会式では順位ごとに参加賞を選択、昼食弁当・飲物をもって午後からの雨にあわずに大会を終えることができました。

◎成績 1位 加藤瑛太（小学6年）・小成裕之
2位 大和田稔・松本光茂
3位 宮浦勝忠・佐藤英二・田中三智雄

池田ペタンク協会 第39回地域対抗ペタンク大会

8月23日・24日の予選リーグ上位4チームが8月25日決勝トーナメントで清里チーム（中鉢夫妻・荒克仁・吉田富枝）が優勝しました。池田町教育委員会主催大会に11チーム42人が参加する池田ペタンク場で夜間開催の大会です。大会結果は十勝毎日新聞電子版に掲載（8月30日）されました。



十勝毎日新聞電子版掲載写真

**報道機関に積極的にアプローチ
各地でペタンクの露出度アップへ**

大会対戦表 事前周知で参加意欲倍増!?

3年ぶりの大会再開で、大会運営に変化が見られます。北見、美幌、池田そして札幌の大会でも事前に大会参加者名、対戦表など大会プログラムが各協会事務局へ周知がされています。コロナ禍前は、大会前の交流会席上で大会プログラムの閲覧がありましたが、このコロナ禍で交流会は中止、コロナ予防対策等の周知徹底のために事前に送付されています。事前周知で、大会参加者を確認し、対戦表での対戦相手を知ることができて、参加意欲などに効果があるようです。3年ぶりの大会再開で道連盟の大会運営にも新風が吹き込んでいるようです。

第32回北海道知事杯ペタンク大会 札幌ペタンク協会



農試公園ツインキャップ（室内）のテランは魔物が棲む!？と言われてきました。屋外テランには天使が待っていますか!？

今年最後の道連盟主催大会が9月24日（土）25日（日）札幌市農試公園屋外広場で開催されます。参加チームは22チーム（北見市5・安平町5・美幌町1・池田町4・むかわ町2・札幌市5）で、予選リーグ戦11点先取・決勝トーナメント戦13点の試合時間無制限で行います。ペタンクの試合での逆転など時間に制限されない大会運営を2日間で開催します。3年ぶりの知事杯、4月から9月に大会開催を変更して屋外のペタンクとなり、日本ペタンク選手権大会を再現するような大会です。大会内容、結果は次号（11月）のペタンク通信に掲載します。



今年最後の大会 日本連盟主催大会「第10回北海道ベテラン大会」

10月2日（日）池田ペタンク場 主管協会 池田ペタンク協会

10月15日（土）16日（日）日本連盟主催大会

第37回日本ペタンク選手権大会 富山県富山市

がんばれ!!
北海道代表

編集後記

3年ぶりに大会を再開した令和4年、残すはあと3カ月になりました。コロナ禍で大会中止もありましたが、開催した大会は道連盟会員・ペタンク愛好者との再会と交流で久しぶりの笑顔と会話で爽やかペタンクのひと時を過ごすことができ、健康でペタンクができる平和な日々がいかに大事であるかを知り、仲間とペタンクができることに感謝することができました。2年間のブランクはあったものの、大学生のペタンクサークルが道内にも増えてきて、大会にも参加してくれて、生涯スポーツ＝高齢者のイメージを払拭できるような、老若男女がハンディなく楽しめるスポーツ、ペタンクの魅力を改めて感じる事ができました。今年がペタンク普及の元年になるように

4 道内各地でペタンク体験やペタンク教室が実施できるような体制をつくり、行動できるように、ベテラン会員がもっともっと、ちむどんどんしてほしいです。 （磯野 憲二）